農林水産省登録
第２４１８２号

BASF
We create chemistry

殺菌剤

イントレックス®
フロアブル

小麦の無人航空機散布に適用拡大!

®=BASF社の登録商標

殺菌剤

イントレックス® フロアブル

農薬登録番号：第24182号

殺菌剤分類 7

毒　　性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
有効成分：フルキサピロキサド・・・18.3%

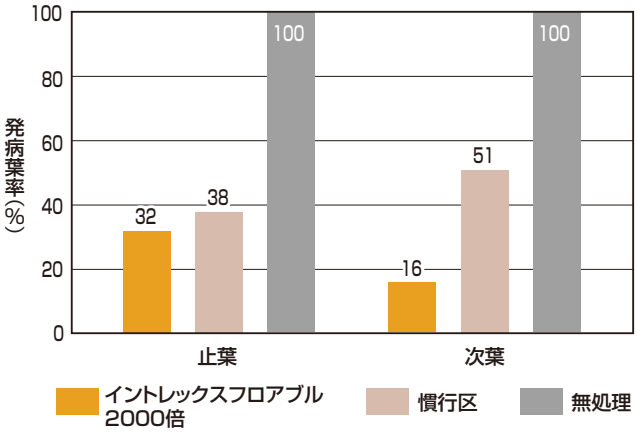
新規有効成分が、小麦の赤さび病に、安定的な効果を示します。

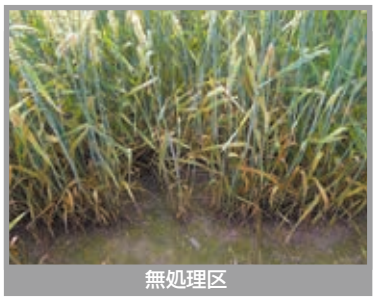
優れた予防効果と治療的効果

優れた残効性

優れた移行性

小麦 赤さび病の試験事例

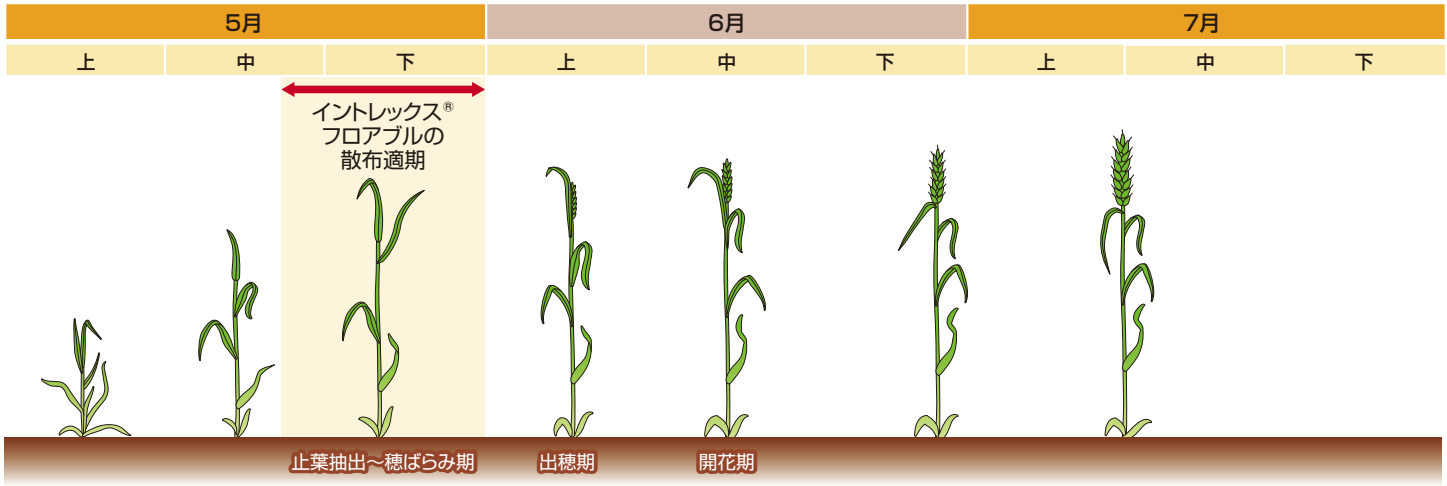




試験年次：2019年
試験機関：社内試験（北海道北見市）
品　　種：きたほなみ
試 験 区：1区10㎡　2反復
発 病 度：甚発生
散布水量：100ℓ/10a

散 布 日：イントレックスフロアブル区：5月30日（穂ばらみ期～出穂始）に1回のみ散布しその後無防除とした
慣行区：5月31日A剤1000倍、6月4日B剤2000倍、6月12日C剤1000倍を各散布
調 査 日：7月12日

イントレックス®フロアブルの赤さび病の散布適期



適用病害と使用方法（小麦のみ抜粋）※その他、ばれいしょ、てんさいにも登録があります。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	1000～1500倍	60～150ℓ/10a	根雪前	4回以内	散布	4回以内 （融雪後は3回以内）
	赤さび病	2000倍		収穫7日前まで	3回以内		
		8～16倍	**0.8ℓ/10a**			**無人航空機による散布**	
	赤かび病	1000倍	60～150ℓ/10a			散布	

⚠効果・薬害等の注意

●使用に当たっては容器をよく振ってください。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
●薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
●本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
①散布機種の散布基準に従って実施してください。
②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
⑤散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
●使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2022年3月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
0120-014-660　https://crop-protection.basf.co.jp

BASF-0090　3
202203